

平成 28 年度 上田北幼稚園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

信学会の教育理念「礼節（はい）・忍耐（できた）・誠実（ありがとう）」を受け、上田北幼稚園の特色である恵まれた自然環境を生かした教育活動をめざし、教育目標は『自然と人とあそべ！北っ子』を継続している。

2. 本年度の重点目標

具体的なめざす子どもの姿として、

- 『き』気持ちのよい挨拶をする子 『た』助け合い、励まし合う子
『つ』強い心と体をつくる子 『こ』根気よく取り組む子

自然とふれあい、人とかかわり、心豊かな子の育成をめざした教育活動を大事にして取り組んできた。

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	B
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	B
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	B
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	B
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- ・信学会独自の専科は魅力的であるので、大いにアピールしたらどうか。専科が幼稚園だけでなく、小学校になっても継続できることも知らせたい。
- ・どんぐり教室は子どもだけでなく、親の気持ちを安定できる場としてもさらに広げたい。
- ・職員はとてよくやってくれているので、これからも力を発揮し、思い切ってやってほしい。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・上田北幼稚園の特色である「園周辺での自然体験や生活体験」「園庭で思い切り体を動かして」に加えて、今年度は「異年齢や地域の人たちとの交流活動」に力を入れてきた。縦割り活動や地域の老人施設の訪問、神科小学校との交流、そして音楽会の演奏を公民館でお年寄りの前で披露することなどを試みた。次年度も検討しつつ広げたい。
- ・保護者アンケートで指摘された園児の園での様子について保護者にわかりやすく伝えることについては、昨年度からと同様である。連絡帳の活用はもちろんであるが、学級や学年便り、さらには参観日などでもわかる工夫をしていく。
- ・自治会のご支援で駐車場を冬場借用したり、公園の小屋の修理、ゴミ収集場所の提供などをしていただいていることに感謝しつつ、襟を正してかかわっていくことを肝に銘じたい。